岩手県ホームページでも
ご覧いただけます ▼

美しい県土づくりNEWS

2025年 7月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第243号
令和７年７月18日発行
編集　県土整備企画室

目　次

2	北上	国道107号 大石トンネルが貫通！
4	花巻	花巻広域公園のテニスコートを改修中！
6	遠野	電線共同溝事業の住民説明会を開催！
7	沿岸	砂防出前講座＆工事現場見学会を開催！
11	建振	けんせつ小町部会 現場見学会を開催！
12	下水	下水道・浄化槽 出前講座を開催中！
14	砂防	みんなで防ごう土砂災害！
16	道環	サイクリスト向けポケットマップを公表！
18	道建	全国道路・街路交通情勢調査を実施！
19	建振	建設業の女性活躍推進情報メール配信中！
20	建振	優秀建設施工者岩手県知事表彰式を開催！
21	岩手	東北地整管内業務発表会最優秀賞を受賞！

一般国道107号大石トンネル貫通！

～ 令和7年冬前までの供用に向け全力で工事を推進 ～

令和７年７月８日、一般国道107号西和賀町大石地区で整備中の 大石トンネル が貫通しました。今後は、今年冬前までの供用に向け、トンネル内の舗装・照明設備や新設トンネルと現道を接続する函渠工などの施工を進めます。

一般国道107号西和賀町大石地区で整備中の大石トンネルが貫通しました！

県南広域振興局土木部 北上土木センター

岩手県が西和賀町大石地区で整備を進めている「一般国道107号大石地区道路災害復旧（トンネル築造）工事」において、令和５年７月から掘削作業に着手・推進していた大石トンネル（約1,420m）が、令和７年７月８日に貫通しました。

同日には、工事受注者が主催する貫通式が開催され、約70名の出席者が、無事故・無災害でのトンネルの貫通を祝いました。

貫通発破

通り初め

発注者代表挨拶（県南広域振興局長）

鏡開き

貫通式では、貫通発破や通り初め、鏡開き等を行いました。

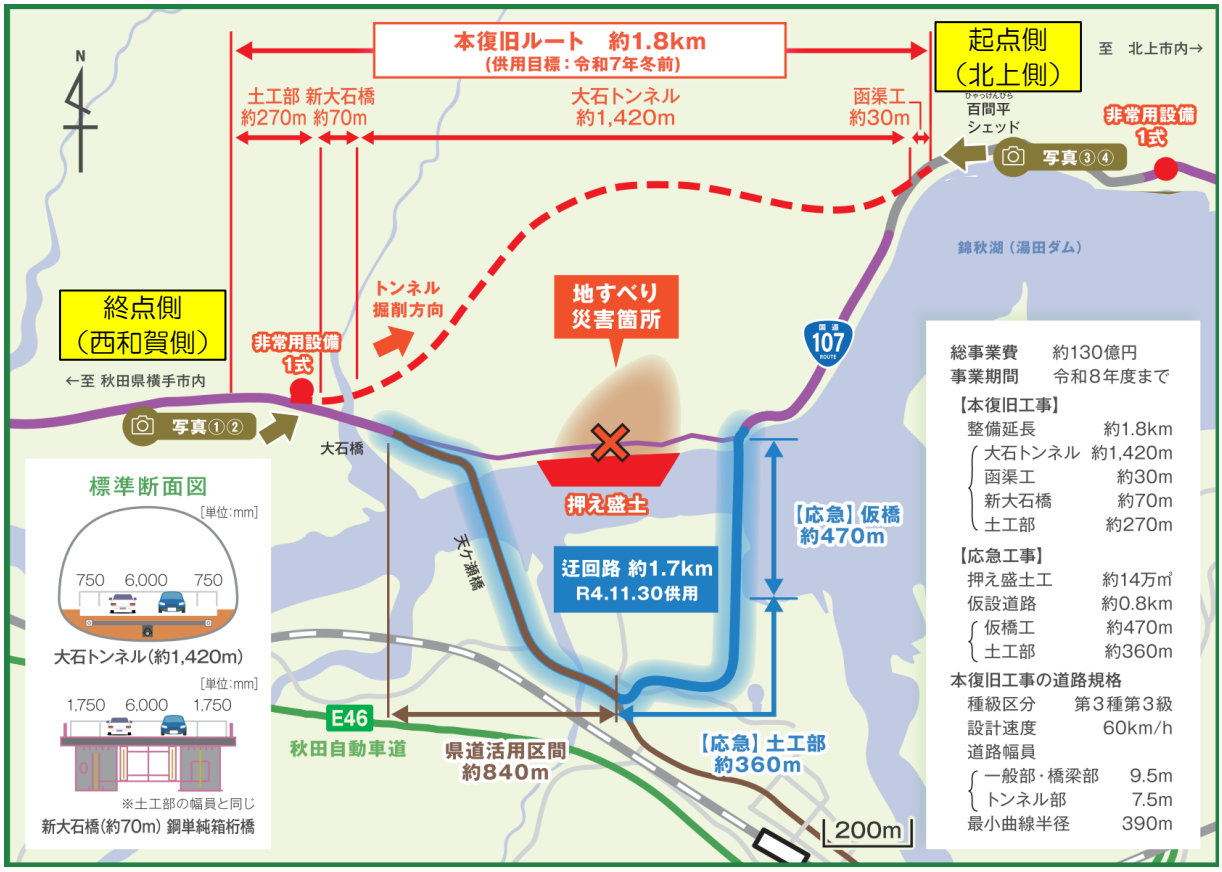
発注者挨拶では、菅原県南広域振興局長が「これまで事業に御協力いただいた岩手南部森林管理署、北上川ダム統合管理事務所、西和賀町、東日本高速道路株式会社などの関係者のみなさまに深く感謝を申し上げる。大石トンネルの工事をはじめとした災害復旧事業全体を推進し、今年の冬前までの供用開始に向けて全力で取り組んでいく」と今後の抱負を述べました。

今後、現場では、トンネル内の舗装・設備等を進めていきますが、新設トンネルと現道を接続する函渠の施工のため、８月以降に夜間の通行止めを行う予定です。

みなさまには御不便をおかけしますが、通行規制に係る最新の情報は以下のホームページに掲載しておりますので、御理解、御協力をお願いします。

★ 国道107号北上市～西和賀町間の通行規制情報やライブカメラ映像はこちらから！ ★
https://www.douro.com/kitakamidoboku/r107/
★ 国道107号大石地区の災害復旧事業の状況はこちらから！ ★
https://www.pref.iwate.jp/kennan/kita_doboku/1043155/index.html

一般国道107号大石地区道路災害復旧事業の計画概要



起点側（北上側）のトンネル坑口付近の状況

着手前（令和３年11月）

令和７年５月時点

終点側（西和賀側）のトンネル坑口付近の状況

着手前（令和３年11月）

令和７年５月時点

花巻広域公園のテニスコートを改修しています！

～ 岩手県内では貴重なハードコートをぜひご利用ください ～

県南広域振興局土木部 花巻土木センター

花巻広域公園は、昭和57年の開園から40年以上が経過し、園内のテニスコートもひび割れなど老朽化が進んでいることから、岩手県では、令和６年度から改修工事を進めています。

８面のハードコートのうち、２面の改修工事が完了し、令和７年４月19日から供用を開始していますので、県内外から多くのみなさまのご利用をお待ちしています。

改修前のテニスコート

ハードコートの特徴

ハードコートは、「高い耐久性」「ボールのバウンドが安定」「速すぎず遅すぎないプレースピード」などのメリットがあり、どんなスタイルの選手もプレーしやすいので、人気のあるコートタイプとなっています。

県内では、ハードコートを備えた施設は限られることから、引き続き６面の改修工事を進めていきます。

花巻広域公園の概要

花巻広域公園（面積91.6ha）は、花巻市街地から北西方向に約７㎞、奥羽山脈の山麓に位置し、最寄りの東北縦貫自動車道の花巻ＩＣからは車で約10分となっています。

公園内は、多目的に利用できる「イベントゾーン」のほか、スポーツを楽しめる「運動ゾーン」「ゴルフゾーン」、自然の観察や鑑賞を楽しめる「水と芝生ゾーン」「植物園ゾーン」が配置されています。

今年の夏も猛暑となることが予想されていますが、「水と芝生ゾーン」には、噴水池やイギリス海岸、じゃぶじゃぶ池、魚釣場（金矢池）など、水と親しむ施設があります。熱中症や水の事故にご注意いただきながら、ぜひ花巻広域公園の夏をお楽しみください。

噴水池

イギリス海岸（一部工事中）

じゃぶじゃぶ池

また、年間を通じて、指定管理者である公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団による各種イベントが予定されていますので、ぜひホームページをご覧ください。

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団のホームページはこちら！
https://iwate-sposhin.jp/hanamaki/

花巻広域公園イベント一覧

No.	イベント名		内 容	期 日	対象・定員・料金など
1	ぎんがのもり 春まつり2025	終了	フリーマーケット・屋台、自然探索ゲーム、バルーンアート販売、森の演奏会など	令和7年5月4日	対象：子供から大人まで 定員・料金：ブースにより異なる
2	ぎんがのもり 夏まつり2025		フリーマーケット・屋台、釣り体験、プール遊び、ダブルダッチパフォーマンス＆体験会など	令和7年7月21日	対象：子供から大人まで 定員・料金：ブースにより異なる
3	ぎんがのもり 秋まつり2025		フリーマーケット・屋台、釣り体験、創作体験、はたらく車など	令和7年10月5日	対象：子供から大人まで 定員・料金：ブースにより異なる
4	ぎんがのもり グラウンド・ゴルフ大会	終了	8H×4ラウンド（計32ホール）の大会	令和7年6月11日 （予備日：6月20日）	定員：128名（予定） 料金：800円/1名
5	ぎんがのもり ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｳｫｰｷﾝｸﾞ教室		講師による歩き方、ポールの基本的な使い方を学ぶ教室	令和7年5月17日 令和7年10月25日	定員：30名（予定） 料金：500円/1名（小学生以下無料）
6	ぎんがのもり イーハトーブテニス大会		男子ダブルス、女子ダブルス、1セットマッチ（6オールゲーム後12ポイントタイブレーク）	令和7年9月20日 （予備日：9月27日）	対象：子供から大人まで 定員：50名（予定） 料金：一般1,500円、学生1,000円
7	ぎんがのもり ドッグフェスティバル		盛岡ペットワールド専門学校との共催イベント 各種アトラクションを用意	令和7年10月19日	定員：なし 料金：500円/1人
8	ぎんがのもり 公園エンジョイスポーツ		卓球台（2台）及び各種レジャー用具の貸出	開園期間中通年	料金：卓球200円～300円/1時間 レジャー用具200円/3時間

（出典：公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団ホームページに一部加筆）

一般県道遠野停車場線新穀町地区ほか電線共同溝事業の第１回住民説明会を開催しました！

県南広域振興局土木部 遠野土木センター

無電柱化は、防災性の向上や安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から実施していますが、近年、災害が激甚化・頻発化していることなどから、その必要性が高まっています。

本事業区間の一部は、岩手県地域防災計画における緊急輸送道路に指定されており、災害直後から、避難・救助活動のために緊急車両の通行を確保すべき重要な路線となっています。また、遠野駅前は、遠野の古くからの街並みが残る地区であり、周辺道路は遠野市景観計画における景観重要路線に位置付けられています。

こうした状況を踏まえ、当センターでは、令和６年度に一般県道遠野停車場線新穀町地区及び一般県道遠野住田線中央通地区の無電柱化事業に着手し、令和７年５月15日に第１回住民説明会を開催しました。

▲説明会の様子

▲事業箇所図

（整備前）

無電柱化イメージ図▲　　（整備後）

説明会当日は周辺住民18名が参加され、事業内容に関してのご質問を頂戴しました。

今後も、住民のみなさまに寄り添った丁寧な説明を重ね、理解を深めていただきながら、早期の整備完了に向けて取り組んでいきます。

砂防出前講座＆砂防･道路工事現場見学会を開催！

沿岸広域振興局土木部

沿岸広域振興局土木部主催で、建設業への担い手確保の取り組みの一環として中学生を対象に砂防・道路工事の現場見学会や体験学習、建設業の概要について講義を行いました。
当日は校内外の２部構成で、①模型実習・座学、②現場見学、③体験学習 を実施しましたので様子を紹介します。

【第１回】
実 施 日　令和７年６月９日
参 加 者　釜石市立甲子中学校２年生（38名）
現場見学　大松砂防堰堤改築工事
（受注者：株式会社山長建設）

ドローンで記念撮影

【第２回】
実 施 日　令和７年６月19日、20日
参 加 者　釜石市立大平中学校２年生（30名）
現場見学　主要地方道釜石遠野線中村地区道路改良工事
（受注者：株式会社新光建設）

ドローンで記念撮影

① 模型実習・座学（学校内）

土石流模型での実験

映像等での学習

建設業について説明

② 工事現場見学

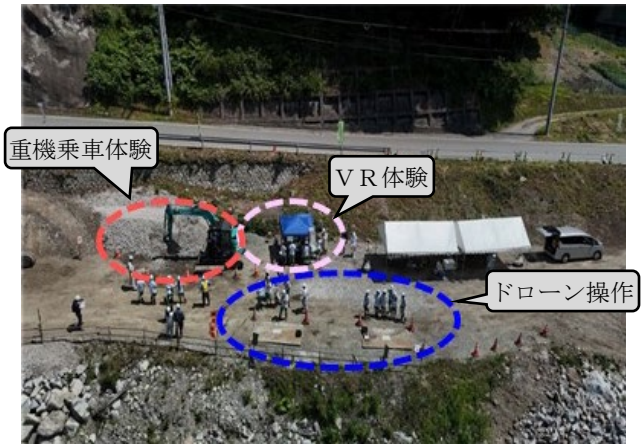
大松砂防堰堤改築工事
（受注者：株式会社山長建設）

主要地方道釜石遠野線中村地区道路改良工事
（受注者：株式会社新光建設）

③ 体験学習

大松砂防堰堤改築工事

主要地方道釜石遠野線中村地区道路改良工事



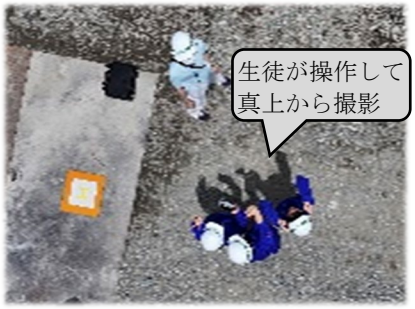
＜ 重機乗車体験 ＞

バックホウ

高所作業車

振動ローラー

＜ ドローン操作体験 ＞



＜ＶＲによる建設現場体験＞

　工事現場では、事故等安全対策が欠かせません。
　ＶＲで危険を仮想で体験し、リアルな体験をして事故等を未然に防ぎます。
　高所恐怖症でも、高所作業での危険性をしっかり学べたという声もありました。

　岩手県内の建設業従事者は、50歳以上の割合が高く、30歳未満の割合が低くなっています。
　特に沿岸広域振興局管内には土木を専攻できる工業高校が無く、建設業と接点を持つ機会が他管内に比べ少ないことから、建設業の担い手確保が課題となっています。
　建設業が人々の命、そして暮らしを支える社会基盤を守っていることを砂防出前講座や道路・砂防の工事現場見学、建設業体験学習を通じてぐっと身近に感じてもらえるよう、継続して開催していきます！

けんせつ小町部会先進事例現場見学会を開催しました

道路建設課

いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会では、建設業界が性別に関わらず誰もが働きやすい業界となることを目指し、平成29年度から建設産業における女性の活躍支援のための総合的な取組を進めています。

６月６日には、生産性の向上や労働環境改善に取り組む先進事例現場見学会を開催しました。県内建設企業に従事する17名の方にご参加いただき、成瀬ダム工事を見学しました。

自動化施工による生産性の向上

工事受注者のＪＶ（鹿島・前田・竹中土木特定建設工事共同企業体）の方から、ダム堤体打設工事の自動化について、ご説明いただきました。

工事に機械の自動化システムを導入したことにより、熟練オペレーターの操作分析をもとにプログラムされた３機種14台の建設機械を、現場から400km離れた場所で３名のＩＴパイロットが昼夜連続で管制し、高速施工を実現しました。また、自動化により、月間打設量の国内最高記録を樹立しました。（記録の更新は1960年の黒部ダム以来、約60年ぶり）

ＪＶの方からは、「大規模な工事だからこそチャレンジできる環境にあった。今後は、一般的な造成工事での活用を目指したい。」とのお話がありました。担い手不足が課題とされる中、企業の努力によって単純作業の機械化を図り、生産性を向上させていく取組について、非常に勉強になる機会となりました。

働きやすい職場環境づくり

ＪＶの方から、性別によらず、働きやすい環境づくりのため、個室トイレの設置や女性用休憩施設の設置などについて、ご紹介いただきました。工事現場が山奥にあるため、週末のリフレッシュになるような環境の整備など、工事現場で働く方の環境整備に取り組まれているそうです。

参加した方からは、「最先端の技術に驚いた」、「環境整備の点で人に関わることは規模の大きさに関わらず普遍的な問題だと改めて感じた」などの感想がありました。

ぜひ、参加されたみなさんには、見学会で感じたことや学んだことを自社の取組に生かしていただきたいです。

今回は、国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所及びＪＶのみなさまに快く見学を受け入れていただきました。ありがとうございました。

下水道・浄化槽　出前講座を開催しています！

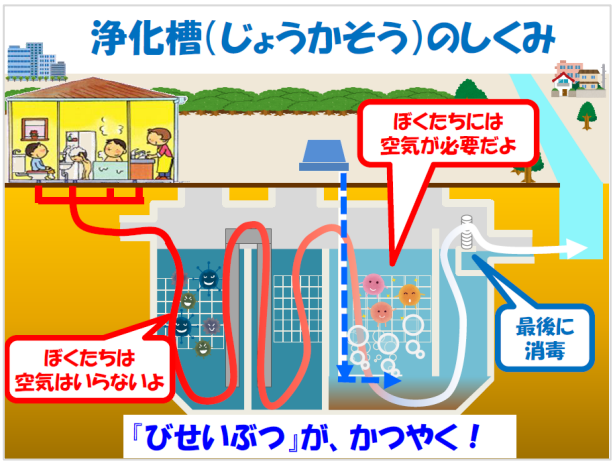
下水環境課

下水環境課では、環境教育活動への支援の一環として、下水道や浄化槽の汚水処理施設の普及啓発活動を実施しており、学校や団体を対象に平成20年度から公益財団法人岩手県下水道公社と連携して「下水道出前講座」、平成21年度から公益社団法人岩手県浄化槽協会と連携して「浄化槽出前講座」を開催しています。

今年度は、７月１日現在、滝沢市立鵜飼小学校など、６校195名の児童を対象に講座を実施しています。

＜出前講座の様子＞

下水道・浄化槽の役割を説明



説明画面

顕微鏡で微生物の観察

顕微鏡で微生物の観察

下水道・浄化槽の仕組みを説明し、汚水をきれいにしている微生物を顕微鏡で観察しました。児童たちは、微生物が汚水をきれいにしていること、汚泥がリサイクルされていることに驚き、実際に動いている微生物を興味津々で見ていました。「マンホールがどこにあるか探してみたい」、「微生物が食べられないものは流さないようにしたい」などの感想をたくさんいただきました。

＜７月１日時点での開催状況＞

	実施日	団体名	人数
1	5月26日	スポーツブレイン（社員研修）	8人
2	6月12日	雫石町立西山小学校	19人
3	6月23日	滝沢市立鵜飼小学校	98人
4	6月9日	金ケ崎町立第一小学校	22人
5	6月30日	宮古市立田老第一小学校	9人
6	7月1日	二戸市立中央小学校	39人

今後も、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止していくために、「水の循環と汚水処理の大切さ」を子どもたちに伝え、汚水処理施設の普及や汚水処理人口普及率の向上に取り組んでいきます。

【下水道・浄化槽出前講座　申込先】
下水環境課　下水管理担当
TEL：019-629-5896　FAX：019-629-9130

出前講座
ホームページ⇒

設置費補助を利用して合併処理浄化槽を設置しませんか？

●汲み取り便槽や単独処理浄化槽のご家庭では、台所やお風呂などの排水が処理されていません。

●合併処理浄化槽は、下水道と同じく、快適な水洗トイレを使用できます。

●台所やお風呂の排水を一緒に処理することで、悪臭や害虫の発生を防ぎ、身近な自然を守ることができます。

補助の詳細は、お住まいの市町村下水道担当課までお問い合わせください。

くみ取り便槽等の撤去費、宅内配管工事費補助や、市町村が浄化槽を設置する事業を行っている場合もございます。

問い合わせ先は、「岩手県浄化槽設置補助」で検索いただくか、
←こちらのQRコードから御確認ください。

みんなで防ごう土砂災害！

～「土砂災害防止月間」の取組について～

【2025年土砂災害・全国防災訓練キャッチフレーズ】
「情報の確認、早めの避難」

砂防災害課

国土交通省と全国の都道府県では、防災・減災の取り組みの一環として、梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、昭和58年から、６月を『土砂災害防止月間』と定め、土砂災害防止に向けた様々な取り組みが実施されています。

ここでは、岩手県が行っている土砂災害防止月間の取組について紹介します。

土砂災害写真パネル展

岩手県庁舎１階県民室において、ＮＰＯ法人防災ネットいわてと共催で、『土砂災害写真パネル展』を開催しました。また、岩手県立図書館４階Ｉ-ルームでは、ＮＰＯ法人防災ネットいわて及び岩手県立図書館の共催により、『土砂災害写真パネル展』を開催しました。

『土砂災害写真パネル展』では、土砂災害の仕組みや県内外で発生した土砂災害等を紹介するパネルや、土砂災害の映像上映、小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」の作品を展示しました。

県庁県民室での展示状況

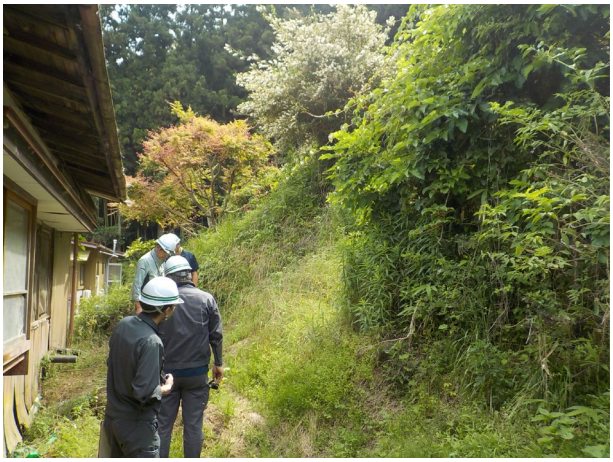
県立図書館ではパネル展と合わせ、図書館所蔵資料のうち、土砂災害に関連する書籍等も展示

令和６年度　絵画・中学生の部
岩手県　最優秀賞
「急いで　にげろ　日頃の備えを…」
岩手県 宮古市立宮古西中学校２年
（当時）

土砂災害警戒区域等の点検

市町村・砂防ボランティア岩手県協会などの関係機関と連携して、土砂災害警戒区域等の点検を実施しました。また、砂防施設の点検を行い、施設に変状等が無いかを確認しました。

岩泉土木センター管内



一関土木センター管内

土砂災害出前講座

土砂災害に対する正しい知識を身につけ、適切な避難行動につなげて行くことを目的として、主に県内の小中学生を対象に、出前講座を開催しています。

土砂災害の仕組みなどについて学習

模型実験で砂防堰堤の効果を確認！

土砂災害が発生した際の避難について
考えるグループワークを実施

▼岩手県土砂災害警戒情報システム

本システムでは、土砂災害危険度や降雨の状況、土砂災害警戒区域等を確認することが出来ます。自宅周辺の土砂災害警戒区域等を確認しておくことが大切です。

URL：https://sabo.pref.iwate.jp/Top

右のＱＲコードから
スマートフォン版サイトに
アクセスできます。

【問い合わせ先】岩手県県土整備部砂防災害課
TEL：019-629-5925
E-mail：AG0006@pref.iwate.jp

岩手県広域サイクリングルート
サイクリスト向けポケットマップを公表しました！

道路建設課

岩手県では、自転車を活用した観光振興等を促進するため、地域特性を生かした４つの広域的なサイクリングルート「岩手県広域サイクリングルート」を令和６年３月に設定したところです。今般、より多くのサイクリストに周遊していただくため、サイクリスト向けポケットマップ「サイクリングマップ」を作成し、５月30日に知事の定例記者会見にて公表しました。

Point1 サイクリスト向け情報の充実
- いわてサイクルステーションの位置などの情報、WebマップへのＱＲコード、観光やグルメ情報を掲載

Point2 開きやすい折り方・サイズの工夫
- miura-ori®を採用し、開きやすくコンパクトに

Point3 素材の工夫
- 雨天時のサイクリングにも強い素材を使用

【配布場所】岩手県内の道の駅、いわてサイクルステーション登録施設
※ 登録施設一覧は、岩手県ＨＰから御覧いただけます！
https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/bicycle/1056174.html

サイクリングマップは、サイクリストや関係団体、観光会社からの意見を踏まえ、持ち運びが容易なポケットマップを作成したものです。達増知事から、「標高について詳しく書いてあり、標高図もしっかり記載されている」との紹介がありました。

今回のサイクリングマップの公表を契機に、全国のサイクリストのみなさんに岩手県広域サイクリングルートを知っていただき、自転車を活用した観光振興が促進されることを期待しています。

【令和７年５月30日】知事定例記者会見

【参考】サイクリングマップは、
以下のＱＲコードからご覧頂けます！！

～　サイクリングマップの開き方　～

裏カバーを左手で支え、表カバーを右手で持ち、右下に引きます。
すると、紙が開き、一瞬で全体を見ることができます。

右下に引きます

そのまま、右下へ

全体が開きます

＜参考＞株式会社井上総合印刷ＨＰを参考に作成

【問い合わせ先】岩手県 県土整備部 道路環境課
TEL：019-629-5878
Email：AG0004@pref.iwate.jp
【県ホームページ】
https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/bicycle/index.html

Instagram
IWATE_DOUKAN

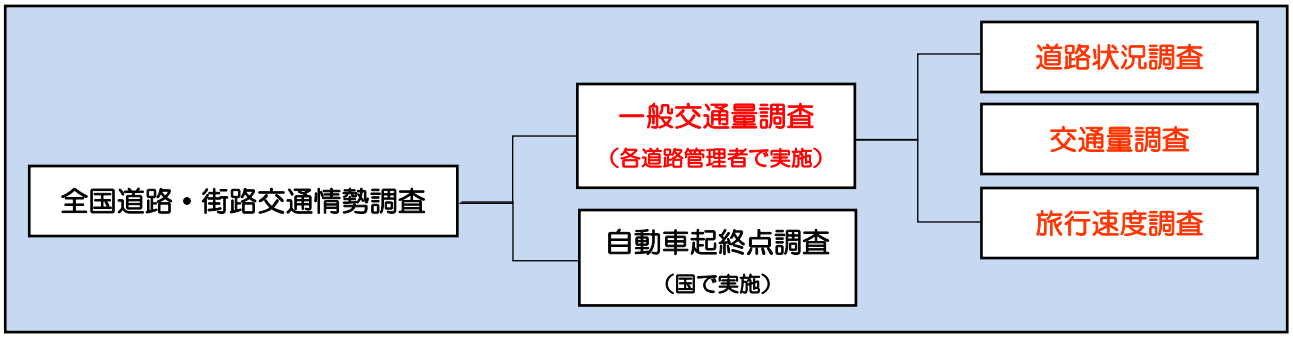
令和７年度 全国道路・街路交通情勢調査を実施します！

道路建設課

道路交通の現況と問題点を把握し、将来にわたる道路の整備計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とした、「全国道路・街路交通情勢調査（旧：道路交通センサス）」を令和７年の秋季（令和７年９月～11月）に実施します。

当該調査は、概ね５年ごとに実施しており、前回調査は令和３年度（新型コロナの感染拡大により令和２年度から延期）に行いました。

岩手県では、国が定めた調査項目（図）のうち、県管理道路における一般交通量調査を行います。



図：全国道路・街路交通情勢調査の概要

今後のスケジュール（予定）

令和７年　７月上旬頃	調査委託業務契約（県庁発注）
令和７年　９月～令和７年11月	道路状況調査、交通量調査、旅行速度調査
令和７年12月～令和８年　２月	調査結果とりまとめ
令和８年　３月	推定交通量の算出、旅行速度の整理等
令和８年　４月以降	整理結果確認、公表用資料作成
令和８年度内	調査結果公表

【参考】調査結果の公表形式について

平成27年度調査時までは交通量図を配布していましたが、調査結果を簡便にWEB上で確認できる「可視化ツール」が公表されたため、令和３年度調査時には印刷版を配布しておりません。

今回も令和３年度と同様の形式での公表を予定しております。

▼ 令和３年度の調査結果はコチラ ▼

岩手県 － 岩手の道路交通量

ＵＲＬ：https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/1047458/1047477.html

調査に際してのお願い

交通量調査については、秋季（令和７年９月～11月）の平日にビデオカメラ等による12時間又は24時間の機械観測を予定しています。

調査の実施に当たり、道路区域内に一時的にカメラや椅子等を設置しますので、調査への御協力をお願いいたします。

建設業の女性活躍推進に役立つ情報をメール配信します！

建設技術委振興課

いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会では、県内建設企業の経営者や従業員等の女性が働きやすい職場環境整備に対する理解促進に向け、情報発信を強化します。この取組の一つとして、このたびメール配信を開始しました。

県内建設企業の経営者や従業員等であれば、どなたでもご登録可能です。

県の女性活躍に関するセミナーや補助金等のご案内のほか、けんせつ小町部会での取組の様子を配信します。県内建設企業の女性活躍に役立つ情報を発信していきますので、ぜひご登録ください！　みなさまのご登録お待ちしております。

配信登録の仕方

右のＱＲコードから登録可能です（所要時間１分）

または、下記の岩手県ホームページに掲載している申込書に必要事項を記入の上、メール（AG0002@pref.iwate.jp）またはFAX（019-629-2052）で送信してください。

【岩手県ホームページはこちらから】

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1010959/1085812.html

いわて女性の活躍促進連携会議 けんせつ小町部会
～　メール配信のお知らせと御登録のお願い　～

いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会では、建設産業の担い手確保のための一環として、建設産業における女性の就業割合を増やすことを目的に建設産業における女性の活躍支援のための総合的な取組を進めています。
今般、けんせつ小町部会における活動報告や県が主催する女性活躍関連の各種セミナー、補助金等の御案内等のため、メール配信を行います。
つきましては、下記注意事項を御確認のうえ、配信を希望する場合は、必要事項を御記入いただき、事務局あてメール・FAX又は下記QRコードよりお申込みください。

建設企業の女性活躍に向け、役立つ情報を積極的に発信しますので、ぜひ御登録のほど、よろしくお願いいたします。

【注意事項】
- メールアドレス等の個人情報は本メールの配信以外の目的での使用はいたしません。
- 個人情報は、県土整備部建設技術振興課が厳重に管理し、漏えい、紛失、不正流用、改ざん等の防止のために必要かつ適切な措置を講じます。
- メールの配信先の変更及び配信停止を御希望の場合は、事務局までお問い合わせください。

--------メール登録の申込み--------

右のQRコードからパソコン、スマートフォン等でお申込み可能です。
（岩手県電子申請・届出システムのページが開きます）
メール又はFAXによるお申込みを御希望の場合は下記の必要事項を記載して送付してください。

会社・団体等名		
所在地	〒	
代表者	役職	
	氏名	
担当者（連絡窓口等）	所属	
	氏名	
TEL		
E-mail　（メール配信先）		

【事務局（お問い合わせ先）】　岩手県県土整備部建設技術振興課建設業振興担当
TEL：019-629-5954　FAX：019-629-2052　E-mail：AG0002@pref.iwate.jp

「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催しました

建設技術振興課

令和７年６月17日、「第33回優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を盛岡市のプラザおでってで開催しました。

この表彰は、優れた建設現場従事者を広く表彰することにより、「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させ、これらの方々の能力と資質の向上を図るとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、建設業の健全な発展に資することを目的として実施しているもので、平成５年度から開催しているものです。

今年度の受賞者は11名で、表彰式では八重樫副知事から表彰状と徽章が授与されました。

受賞者名	所属会社	所在地
及川　浩	株式会社瀧田屋	花巻市
小原　勉	三和設備工業株式会社	花巻市
小節　忠好	高畑電機株式会社	久慈市
高橋　顕	北日本機械株式会社	盛岡市
谷口　純也	刈屋建設株式会社	宮古市
玉澤　正	宮城建設株式会社	久慈市
千葉　新也	鈴木工材株式会社	一関市
寺澤　信市	北海建設工業株式会社	北上市
畠山　修一	マルエス工業株式会社	盛岡市
横山　髙男	株式会社岩手マイタック	盛岡市
渡邉　祐司	豊島建設株式会社	大船渡市

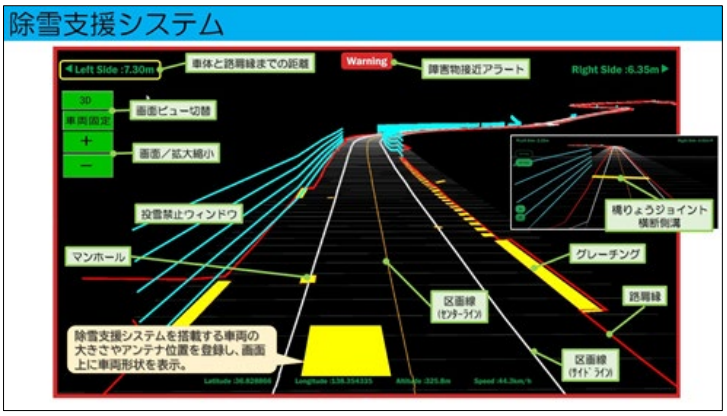
令和7年度東北地方整備局管内業務発表会で最優秀賞を受賞
「除雪支援システムについて」～除雪DXが拓く建設業の未来～

建設技術委振興課 ・ 盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

令和７年６月19日から20日にかけて国土交通省東北地方整備局主催で開催された「令和７年度東北地方整備局管内業務発表会」において、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター菊地主査が発表した「除雪支援システムについて」が最優秀賞を受賞しました。

八幡平アスピーテラインの「雪の回廊」は、岩手を代表する春の絶景ですが、除雪作業にあたる地場の建設会社では作業員の高齢化や担い手不足、作業環境における安全確保等、深刻な課題に直面しています。

この課題に対し、高精度３次元地図と人工衛星による高精度位置情報を組み合わせることにより、雪の下の道路情報がタブレット上でリアルタイムに「見える」化を実現させ、安全・安心な作業環境、週休２日の実施など働き方改革、コスト縮減を達成しました。このことが高い評価を受け、最優秀賞を受賞したものです。



タブレットに表示される道路情報

発表する菊地主査

バックホウでの除雪状況

◇ 発表論文等はこちらからご覧ください。
（令和７年度東北地方整備局管内業務発表会のホームページ）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00360/happyoukai/R7/index.html

～　岩手土木センターより　～

本システムを活用し「雪の回廊」を見事に造り上げた柏台地区ほか地域維持型共同体のみなさま、そして現場状況に応じたシステム開発を行い除雪DXの礎を築いたダイナミックマッププラットフォームAxyz株式会社様に深く感謝申し上げます。みなさまの卓越した技術と御尽力が、今回の受賞につながりました。

今後は県内全域への導入拡大を目指し、除雪ＤＸを一層推進することで、建設業界の担い手確保や働き方改革に貢献してまいります。